

少子高齢化・経済格差・子どもの貧困・過疎化など、複雑な社会課題の解決に挑む
社会起業家を多数輩出！社会起業家の登竜門

社会起業塾イニシアティブ 2021年度生募集開始！

～参加者アンケートの回答者、100%が「今後の日本社会に必要」と答えた創業支援プログラム～

エントリー〆切：6月23日（水）正午まで

オフィシャル・パートナー／日本電気株式会社、花王株式会社
プログラム・パートナー／株式会社電通
協力／IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

NPO法人ETIC.（読み：エティック、所在地：東京都渋谷区、代表理事：宮城 治男）は、2002年より130名以上の社会起業家を輩出している「社会起業塾イニシアティブ」の2021年度生を募集します。

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が続く中、失業、経済的困窮、教育格差、虐待、メンタルヘルスの悪化など、社会課題の深刻化が危惧されています。持続可能な開発目標（SDGs）に向けた動きを止めず、新しい社会システムの追求を続ける上で、革新的なアイデアで様々な課題に取り組む起業家の存在がいっそう求められています。

2021年度「社会起業塾イニシアティブ」は、昨年度に続きオンラインで開催されます（※）。これまで創業支援の機会が限られていた地方の方々など、社会課題に取り組む日本全国の起業家の皆さんに、更なる成長の機会を提供します。

（※）一部対面研修を予定。詳細は募集概要をご参考ください。

社会起業塾イニシアティブの特徴

創業期に仲間たちと培う、経営者として必要なマインド・視点・考え方

社会起業塾は、卒塾後も自走して事業を成長・拡大していくために必要な、経営者としての力を身につけることを重視したプログラムです。過去の参加者アンケートでは、90%を上回る回答者が組織と個人の双方に良い影響をもたらしたと評価しています。

プログラム期間中、参加者は現場での仮説検証とオンライン研修による振り返りを繰り返すことで、自分にしかできない事業のあり方を追求します。メンターによる事業の本質に迫る問い、起業家を信じてサポートする伴走チーム、そして世の中を良くしたいと思う起業家仲間との出会いも、社会起業塾ならではの魅力です。

特徴①「なぜ起業するのか」、事業の本質を深める伴走体制

社会起業塾では、第一線で活躍する経験豊富なメンターや、OBOGをはじめとするETIC.のネットワークを活かし、先輩起業家とのメンタリングの機会を豊富に用意しています。メンターからの問いかけを通じて、1人では得られなかった気づきや、団体内では生まれない学びを経験します。始めたばかりの事業を社会のニーズにより合致させていく上で、メンターの鋭い投げかけが経営者としての視座を高めます。

今年度は、先輩経営者とのメンタリング時間を増加し、オンラインと対面研修を組み合わせた多様なインプットの機会を予定しています。メンターからの問いかけや思考の整理を助けるため、ETIC.コーディネーターも伴走します。起業家の可能性を信じる応援者として、事業計画を作り上げるプロセスを支えます。

(卒塾生の声)

「起業家としての根幹であるなぜやるのか、何のためにやるのかを繰り返し問われた期間は、一生物の財産だと思っています。」 認定特定非営利活動法人ReBit 代表理事 薬師実芳 (2014年度 NEC社会起業塾生)

特徴② 日本全国から集まる「社会を変えたい」と思う起業家たちと仲間になる

社会起業塾は、これまで132人にわたる起業家を輩出してきました。2020年度より8ヶ月間のオンラインプログラムへ再構築したことにより、より濃密な学びと日本全国からの参加が可能となりました。卒塾後には、同期・OBOG同士でのコラボレーションが各地で生まれています。

起業塾期間中には、外部の有識者・経営者を呼んでの経営会議の開催などにも取り組みます。人を巻き込み、協力・協働しながら事業を展開する力を養うことで、卒塾後も継続的に事業を発展させるための素地を築きます。

(卒塾生の声)

「一人ではたどり着けない地点により早く到達できたと感じています。応援団なのだと感じ心強く感じました。」 株式会社いただきますカンパニー 代表取締役 井田美美子 (2012年度 NEC社会起業塾生)

特徴③ パートナー企業とともに目指す社会的インパクト

プログラム期間内には、オフィシャル・パートナーとしてNEC (NEC社会起業塾) や、花王 (花王社会起業塾) の社員の方々と対話する機会があります。卒塾生アンケートでは約7割の回答者が、卒塾後も含めパートナー企業との接点が、プラスの影響をもたらしたと評価しています。

今年度も、NECは「ICTを活用し解決できるような、先駆的な社会課題に取り組む事業」、花王は「これからの新しい生活文化をつくる事業」をテーマに募集し、起業家、OBOG、パートナー企業からなるコミュニティを通じて、事業成長とインパクトの相互創出を目指します。

プログラム・パートナーの株式会社電通による伝えるコツセミナーの開催も予定しています。

(卒塾生の声)

「本社で社員のみなさんにプレゼンをさせていただいた時、みなさんが真剣に聞いてくださりました。多くのアドバイスをしてくださったこと、『決してこれは小さな問題ではないんだ』と心強く感じました。」

One Diary/合同会社Armonia 代表社員 角田真住 (2019年度 花王社会起業塾生)

メンター／メンター ～第一線で活躍する多様な各分野の先輩経営者～

第一線で活躍する多様な各分野の先輩経営者がともに、より良い社会の実現を目指して伴走します。

「24時間365日介護の仕組みを日本で初めて実現。日本の介護保険制度のモデルを構築」



石川 治江 氏／NPO法人ケア・センター やわらぎ 代表理事

1947年、東京都にて生まれる。あるとき、車椅子で国鉄に乗車するためには2日前から申請が必要という事実を知り、エレベーター設置運動に取り組み始める。1978年、生活支援ボランティア組織を発足し、1987年には継続して長い間行える在宅ケアの仕組みを構築するべく全国 初24時間365日の在宅福祉サービスを提供するケア・センター「やわらぎ」を設立した。99年にNPO法人化、代表理事を務め現在に至る。従来の福祉のコンセプトである「困っている人を助ける福祉」を「当たり前暮らしのための仕組みづくり」へ変革するべく活動をしている。

「人口1500人の村で売上合計15億円以上のベンチャーを生み出した仕掛け人」



牧 大介 氏／A0(エーゼロ)株式会社・株式会社西栗倉・森の学校 代表取締役

1974年生まれ。京都府宇治市出身。京都大学大学院農学研究科卒業後、民間のシンクタンクを経て2005年に株式会社アミタ持続可能経済研究所の設立に参画。森林・林業、山村に関わる新規事業の企画・プロデュースなどを各地で手掛けてきた。2009年に株式会社西栗倉・森の学校を設立し代表取締役。2015年10月にエーゼロ株式会社を設立し代表取締役社長。西栗倉村は地方創生の取り組みに力を入れ移住起業家が集まる村として知られている。近著に『ローカルベンチャー 地域にはビジネスの可能性があふれている』がある。

「少量不安定な農産物を流通を通じた、環境負荷の小さい農業の実践者を増やす仕組みづくり」



小野 邦彦 氏／株式会社坂ノ途中 代表取締役

1983年奈良県生まれ。京都大学総合人間学部では文化人類学を専攻。外資系金融機関での「修行期間」を経て、2009年、株式会社坂ノ途中を設立。「100年先もつづく、農業を」というメッセージを掲げ、農薬や化学肥料不使用で栽培された農産物の販売を行っている。提携農業者の約9割が新規就農者。少量不安定な生産でも品質が高ければ適正な価格で販売できる仕組みを構築することで、環境負荷の小さい農業を実践する農業者の増加を目指す。その他、東南アジアの山間地域で高品質なコーヒーを栽培することで森林保全と山間地での所得確保の両立を目指す「海ノ向こうコーヒー」を展開。2009年NEC社会起業塾生。

「教育格差をなくすため、塾や習い事に使えるクーポン券の仕組みを構築・各地へ展開」



今井 悠介 氏／公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事

1986年生まれ。神戸市出身。小学生の頃に阪神・淡路大震災を経験。大学在学中に、学生主体の教育NPO・ブレインヒューマニティーと出会い、子ども・若者の体験活動や不登校生徒の支援事業に携わる。卒業後、株式会社公文教育研究会（KUMON）に入社し、子どもの学習指導や学習教室のコンサルティング業務に従事。東日本大震災を契機に、学生時代の仲間とチャンス・フォー・チルドレンを設立し、代表理事に就任。日本国内の教育格差を解消するために、ス

タディクーポン提供事業を展開。多様な学びの機会を全ての子どもたちに提供できるよう、全国の自治体・NPO・民間教育事業者と連携して取り組んでいる。2013年花王社会起業塾生。

このほか、期間中はETIC.コーディネーターが個別相談に乗りながらサポートします。

OBOG ～国内外さまざまな課題解決の現場で活躍する社会起業家たち～

これまで132人もの想いを持った起業家が参加してきました。起業塾期間中に、ビジョン・ミッションの明確化と、課題の本質に粘り強く向き合った卒塾生たち。社会に対して確かなインパクトを生み出し始めており、その活動は、国内外で高い評価を得ています。社会起業塾の期間中には、OBOGへの事業相談やネットワーキングの機会も予定しています。

<おもなOBOG>



渡部 清花 NPO法人WELgee 代表理事 (2018年度特別メンバー)

日本にやってきた難民申請者が持つ能力や熱意を引き出し、社会や企業とつなげる非営利団体。OECD諸国の中で最も厳しい難民認定率の日本において、難民認定のみに頼らない方法で、人生の目標を追求できるような就労伴走事業『JobCopass』を人材紹介サービスとして運営。INCO(フランス)主催『2018年女性起業家アワード』グランプリ受賞。フォーブスジャパン主催の「日本を代表する30歳未満の30人」に社会起業家部門で選出。



中島 かおり NPO法人ピッコラーレ 代表理事 (2016年度 花王社会起業塾生)

2018年11月に一般社団法人にんしんSOS東京の後継団体として設立。「にんしん」をきっかけに、だれもが孤立することなく、自由に幸せに生きることができると社会の実現をめざし、妊娠葛藤相談事業(にんしんSOS東京・にんしんSOS埼玉・にんしんSOSちば) / 居場所づくり project HOME / 研修啓発 / 調査研究・政策提言などの事業に取り組む。



伊藤文弥 認定NPO法人つくばアグリチャレンジ 代表理事 (2014年度 花王社会起業塾生)

「機会の限定された障害者雇用」と「担い手不足の農業」の地域が抱える2つの問題に対して、2つの問題(マイナス要因)を掛けあわせてプラスに転じるための農場「ごきげんファーム」を経営。社会の理解が不十分なために意欲や能力がありながら働く機会が限定されている障害を持つスタッフが、後継者不足や担い手不足により経営が困難になり遊休地が増加する農業において活躍することで、2つの社会課題を同時に解決するスキーム構築を目指している。



小沼 大地 NPO法人クロスフィールズ 代表理事 (2011年度 NEC社会起業塾生)

『枠を超えて橋をかけ 挑戦に伴走し社会の未来を切り拓く』をミッションに掲げて活動する団体。社会課題解決の現場に企業の社員が飛び込み、現地のNPOや社会的企業とともに課題解決に取り組む新興国「留職」のほか、国内外の社会課題の現場を「体感」する経営幹部・役員者向けのプログラム「社会課題体感フィールドスタディ」を展開する。これまでに大手企業を中心とした50社以上と、アジア12カ国100団体以上のNPOや社会的企業との橋渡しをする。



今村 久美 NPO法人カタリバ 代表理事（2004年 NEC社会起業塾生）

どんな環境に生まれ育った子どもたちも、未来を自らつくり出す意欲と創造性を育める社会を目指し、2001年から活動する教育NPO。高校への出張授業プログラムから始まり、2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいる。

※卒業生一覧は、下記よりご覧ください。

<https://kigyojuku.etic.or.jp/entrepreneurs/>

募集概要

実施期間

- 予科プログラム 7月14日（水）～8月11日（水）
- 本科プログラム 9月22日（水）～3月18日（金）
（※ 詳しいスケジュールは[ウェブサイト](#)をご覧ください）
（※ オンライン講義期間中は、週1回を目安に実施します）

採択団体数（予定）

- 予科プログラム：15団体
- 本科プログラム：6～8団体
（NEC社会起業塾：2団体、花王社会起業塾：3団体、特別メンバー：1～3団体）

応募条件

社会起業塾は、創業期の団体が、実践と学びを往復しながら、自分たちの事業や自分たちを進化させていくプログラムです。創業期として、アイデアを実践し、改善を重ねながら事業の軸を固め、サービスを軌道に乗せていく段階を対象とします。目安としては創業から2～3年まで、スタッフは1～5名程度です。

1. 代表者をはじめ、活動の中心メンバーが18～39歳程度であること
（※ 法人化の有無および形態（営利法人／非営利法人）は問いません）
（※ 学生・社会人の区別は問いません）
2. 顧客/当事者に対してサービスやプログラムを提供した実績があるなど、すでに活動に取り組み始めていること
3. 具体的な活動の実施予定があること（「事業検討のみ」はNG）
（例）オンラインでのサービス提供をしている（予定も含む）
医療・福祉分野などで、感染拡大に十分留意しながらも活動継続している
4. 選考に関連するプログラム、期間中に開催されるミーティング・研修、最終報告会やパートナー企業への報告会の全てに、代表者が参加すること
5. 事業進捗シート（月1回程度）など指定書類の作成・提出をすること

募集締切

- **2021年6月23日（水）正午**

社会起業塾イニシアティブとは

2002年よりNECとの協働で社会起業家支援プログラムを開始。社会起業家の支援・連携を通じて社会イノベーション創出や戦略的社会貢献を推進するプラットフォームとして2010年より「社会起業塾イニシアティブ」を設立。

オフィシャル・パートナーは、NEC（NEC社会起業塾）、花王株式会社（花王社会起業塾）、プログラム・パートナーとして、株式会社電通が参画。これまでに130名以上の社会起業家を育成。社会起業家が、企業や行政と連携・協働することで、社会課題の解決を加速させることを目指します。

OBOGのうち、約6割が官公庁・行政と、約9割が民間団体と組織を超えた連携をしながら、社会変革を目指し取り組んでいます。また、中長期的には、パートナー企業の人材育成や事業創出につながることも期待しています。

NPO法人ETIC.とは ～人をつくる、社会をつくる、日本をつくる～

ETIC.は、次世代の起業家型リーダーの育成と社会へのイノベーション創出を通して、実践型インターンシップや起業家支援プログラム、先輩起業家や事業パートナーと繋がるコミュニティ、キャリアに関する情報発信などの機会提供を行っています。こうした機会を通じて、アントレプレナーシップ（起業家精神）に溢れる人材がより多く育まれるよう、幅広い世代に向けたプロジェクトの開発・改善に取り組んでいます。

お問い合わせ先

NPO法人ETIC.（エティック） 担当：田村・川島・石塚

住所：〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目19-19 恵比寿ビジネスタワー12階

電話：050-1743-6743 / FAX：050-3606-6347

E-mail：incu@etic.or.jp

URL：<https://kigyojuku.etic.or.jp/>（社会起業塾） / <https://www.etic.or.jp/>（ETIC.）